

事業再評価対象事業一覧表（令和3年度 第3回大阪市建設事業評価有識者会議）

番号	事業名	所管局	事業再評価理由 [回数] ※1	前回全体事業費 (億円) ※2	事業開始年度	前回対応方針	a	b	c		d	e	備考 (a~eの補足等)
							対応方針 (案)	B/C	事業進捗率		全体事業費の増減の有無 (増減額)	完了年度延長の有無 (完了年度)	
									前回評価時の事業進捗率 (事業費ベース)	現在の事業進捗率 (事業費ベース)			
14	[住宅地区改良事業] 長橋住宅地区改良事業	都市整備局	④ [4回目]	90	H9	継続B	継続B	1.02	72.33%	74.11%	無	有 R2⇒R7	[完了年度の延長理由] 事業開始から25年近くが経過し、住民の高齢化、建物の老朽化が一層進んでおり、南海・東南海地震等の大規模地震や大火災が発生した場合、甚大な被害をもたらされることが想定される状況にある。 早期の事業収束に向け、権利者と積極的に交渉を行った結果、地区東側の買収がほぼ終了した。 また、地区西側についても、未買収地の多くを所有する大地主の理解を得ることができたため、今後、用地取得が進展するものと考えられるが、権利者所有物件のうち一部が法人管理物件であることなどから、手続きの関係上、一定の時間を要する見通しである。
15	[港湾公害防止対策事業] 大阪港内公害防止対策事業	大阪港湾局	① [4回目]	147	H13	継続C	継続B	11.50	9.4%	15.0%	無	無	[対応方針の変更理由] これまで堤防の耐震対策箇所を優先するため限定的な事業実施としていたが、今後はダイオキシン類濃度の高い箇所を優先的に除去する等、効果的な対策を実施するため。
16	[港湾整備事業] 臨港鉄道整備事業 (北港テクノポート線)	大阪港湾局	① [3回目]	1,140	H12	継続A	継続A	3.97	南ルート分： 64.0% (全体事業： 38.9%)	南ルート分： 59.4% (全体事業： 37.9%)	有 全体事業費： 1140億円 ⇒1236億円 南ルート： 694億円 ⇒790億円	有 R6⇒R9	[全体事業費の増減理由] 工事が進められていく中で、事業計画時の想定と実際の現場条件との違いが明らかになってきたことなどから、安全を確保するために必要な対策や現地調査後に判明したことへの対応等により、全体事業費が増嵩している。 [完了年度の延長理由] 夢洲駅の一部出入口について、IR開業に合わせて事業を実施することとしているため。

※1 再評価理由の番号については、次のとおり

【国庫補助事業】

①所管省庁の基準により事業再評価が必要なもの

【①以外で市が事業主体である事業】

②事業開始年度から起算して5年目の年度において未着工のもの（平成29年度に事業開始分）

③事業開始年度から起算して5年目の年度において継続中のもの（平成29年度に事業開始分）

④事業再評価を実施した年度から5年以上が経過し、なお継続中のもの（平成28年度事業再評価実施分）

⑤都市計画変更を実施した年度から5年目以上が経過し、なお未着工又は継続中のもの（平成28年度に都市計画変更を実施したもの）

⑥その他市長が特に必要と認めるもの

※2 初回の再評価の場合は、事業開始時の全体事業費を表示しています

位置図



⑮ [港湾公害防止対策事業]
大阪港内公害防止対策事業
(所管局：大阪港湾局)
底質ダイオキシン類対策
汚染量 約93万 m^3
汚染面積 約56万 m^2

⑭ [住宅地区改良事業]
長橋住宅地区改良事業
(所管局：都市整備局)
地区面積 1.28ha
不良住宅戸数 211戸
不良住宅率 83.7%

⑯ [港湾整備事業]
臨港鉄道整備事業(北港テクノポート線)
(所管局：大阪港湾局)
延長7.5km(コスモスクエア～新桜島)の内、
南ルート3.2km(コスモスクエア～夢洲)

